

マネジメント部会 活動報告書

国際建造物保全技術協会 インフラマネジメントセミナー開催

『インフラマネジメントへ舵を切れ！』

～インフラマネジメントへの仕組みづくり、人づくり～

■概要

インフラマネジメントへの転換に向けた仕組みづくりや人材育成に関する最新の動向・知見を共有するとともに、行政、民間企業、技術者が連携し、持続可能な社会インフラの維持・発展に向けた取組を推進すること、さらに人材育成やネットワーク形成を図ることを目的として、政策研究大学院大学の家田仁シニアフェロー、富山市建設部の高木課長を講師に迎え、2026 年 8 月 5 日（水）にインフラマネジメントセミナーを開催しました。

セミナーには 109 名（会場 66 名、Web43 名）の皆様にご参加いただきました。

インフラマネジメントへ舵を切れ！
～インフラマネジメントへの仕組みづくり、人づくり～

政策研究大学院大学 **家田 仁** シニアフェロー
国際建造物保全技術協会 **植野 芳彦** 理事長

基調講演
・社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会 インフラマネジメント戦略小委員会 委員長
・地域インフラ群再生戦略マネジメント計画策定手法検討会 座長・委員

総評
・社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会 インフラマネジメント戦略小委員会 委員
・地域インフラ群再生戦略マネジメント実施手法検討会 委員 等

社会インフラの計画を基本構想としてまとめ、人類に役立つ国際社会貢献を目指しています。
一般社団法人 国際建造物保全技術協会 <https://isma.or.jp/>



■講演要旨

- ・基調講演「インフラマネジメント転換へのポイント」政策研究大学院大学 家田シニアフェロー

笹子トンネル事故や八潮市道路陥没事故等を踏まえ、従来の建設・維持管理中心の考え方から、インフラマネジメントへの転換の必要性についてご講演いただきました。見える化、メリハリ、統合的マネジメント、地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）の重要性に加え、持続可能なインフラ管理には行政・民間・市民の連携と政治的リーダーシップが不可欠であるとの考えが示されました。

- ・来賓講演「富山市の持続可能な橋梁マネジメントの実現に向けて」富山市 高木課長

約 2,300 橋を対象とした橋梁マネジメントの取組についてご講演いただきました。橋梁の重要性・健全性を踏まえた橋梁トリアージにより、修繕・更新、使用制限、集約化・撤去を適切に選択・実践している事例が示されました。また、人材育成、新技術の導入、情報発信にも取り組み、将来世代へ健全な橋梁を引き継ぐことを目指していることが紹介されました。

・「インフラマネジメントとは？」国際建造物保全技術協会 植野理事長

従来の点検・予防保全中心の発想から、インフラマネジメントへの転換の必要性についてご講演いただきました。また、群マネ等は目的ではなく手段であり、自らの地域課題やリソースを踏まえた上で、官民連携や人材育成を進めることが重要であると説明されました。技術とマネジメントを両輪として、インフラ経営を実現するための組織づくりと実行力の必要性が示されました。



家田シニアフェロー



植野理事長



高木課長

■当協会会員によるインフラマネジメントに関する事例紹介

以下に示すインフラマネジメントに関する3つの事例を当協会会員から発表・紹介しました。

- ・「施工者の視点からとらえる橋梁マネジメント～健全性の再評価と事例～」
マネジメント部会長 齋藤（株式会社IHIインフラスクエア）
- ・「調査会社が発信するモニタリングの事例～視ながら見守る選択の可能性～」
モニタリング部会長 細野（株式会社アイペック）
- ・「地方自治体と補修材料メーカーで取り組んだ、橋梁マネジメント事例と今後の方向性」
理事・材料部会 田村（株式会社アイゾールテクニカ）

■所感

本セミナーを通じて、インフラ管理は単なる点検・修繕ではなく、限られた人員・財源・時間の中で何を維持し、何を優先するかを判断しながら社会インフラを最適化するマネジメントの視点が重要であることを再認識しました。特に、見える化や橋梁トリアージ、地域インフラ群再生マネジメントなどの考え方は、今後の持続可能なインフラ管理を進める上で重要な視点であると感じました。また、技術だけで課題を解決するのではなく、官民連携や人材育成、組織づくりを通じて技術とマネジメントを両輪で推進していくことの重要性についても理解を深めることができました。

今後、マネジメント部会活動においても、本セミナーで得られた知見を活かし、持続可能なインフラマネジメントの実現に向けた情報発信や技術交流に取り組んでまいります。

最後に、ご講演いただいた講師の皆様ならびにご参加いただいた皆様に心より御礼申し上げます。